

自転車は健康で経済的

自転車セミナー、藤村靖さんの体験報告（福祉会館で）



利用しやすい環境 目指してセミナー

自転車にやさしい地域
づくりセミナーはこのほ

ど、宇部市の福祉会館で自転車愛好家ら約30人が出席して開かれ、自転車利用のメリットやデメリット、自転車に優しい街づくりなどについて意見交換した。宇部市地球温暖化対策ネットワーク（UNCCA）、うべ交通まちづくり市民会議共催。

UNCCAは、二酸化炭素の排出を抑え地球温暖化対策に寄与するために自動車の代わりになる

べく自転車を使う運動を呼び掛けている。その啓発セミナーとして聞く。

UNCCAの自転車利用セミナーとして昨年7月から今年1月まで積極的に自転車を使っている藤村靖さん（47）、木原裕子さんが体験報告。

藤村さんは家から職場まで往復40分の道のりを自転車で月に10日ぐらい通勤。自分の力でどこまでも移動できる自転車の楽しさ、爽快さにはまっていることを紹介した。

一方で自動車や歩行者と接触する危険性も指摘し「交通法規を順守し、自転車の定期点検、ヘルメット着用、もしものための保険加入が必要」と訴えた。

木原さんは毎月2000円を目安に自転車で走ると「風邪を引きにくくなり、ガソリン代も月4000円ぐらい浮いた。何よりの風に吹かれて季節を感じながら走るのが楽しい」と紹介した。

「トコトン話をし、自転車のこと」と題したセ

ミナーでは、村上ひとみ山口大工学部准教授が「自転車をめぐる最近の動向」、加藤工字部警察署交通総務課長が「自転車の安全と警察の取り組み」のテーマで話題提供。出席者全員で走行ルール

クツヤ

松島町10-18
05670

学生服・セラー服は

の疑問点、自分流自転車の極意・楽しみ方、自転車に乗って良かったこと・困ることについて参加者を交えて意見交換した。（浅野）